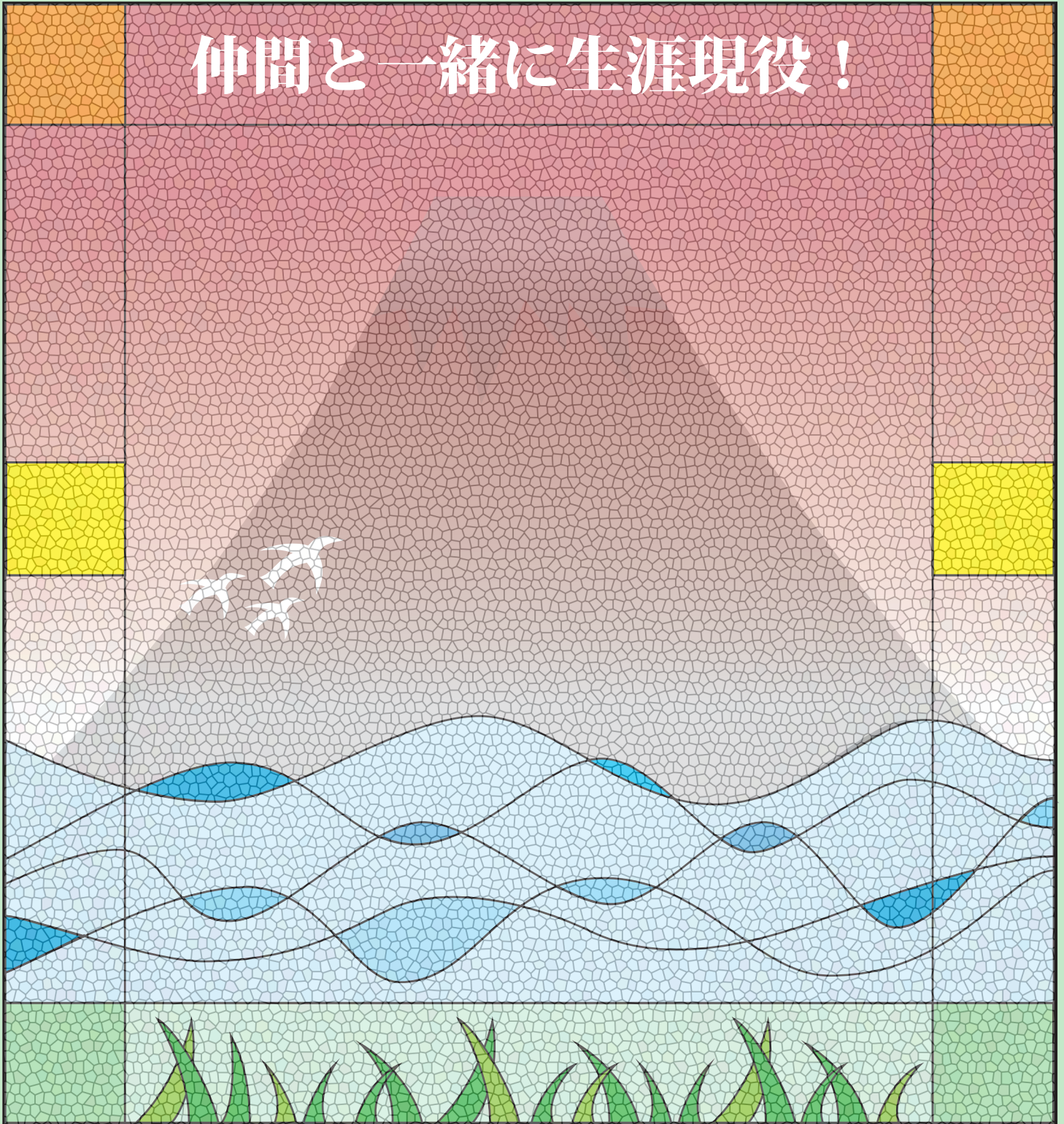


葉山シルバー

平成29年1月発行
会報4号

仲間と一緒に生涯現役！



目次

町長と理事長の新春対談……………	2・3
会員登場・事務局便り・編集後記……………	4
*街角コラム（謎の鑑摺・姫）	

一般社団法人 葉山町シルバー人材センター

〒240-0111 三浦郡葉山町一色 1503-2

TEL. 046-877-1555 FAX. 046-877-1556

E-mail hayama@sjc.ne.jp URL <http://www.hayamasilver.com>

「いつかは 葉山へ」(山梨 崇仁町長)

「ようこそ 葉山シルバーへ」(清水 博理事長)

理事長 山梨町長、明けましておめでとうございます。

町長 おめでとございます。

今年もどうぞ、よろしくお願いします。年明け早々に、高齢者の定義を75歳以上にするという方針を日本老年医学会が出しましたね。

理事長 今までは前期高齢者が65歳からで、75歳からは後期高齢者

と言ってます。

たわけですが、65歳からは何と呼ぶのですよ。

町長 准高齢者だそうですね。

いずれにしても、シルバーの方は60歳以上

が会員資格ということですが、私は年配者のエネルギーを考えると、シルバ



います。

町長 葉山には駅が一つも無いので、駐輪場の仕事がないと聞いていますが。

理事長 はい。

それが他のシルバー人材センターと大きな違いです。

葉山は長者ヶ崎と葉山公園が駐車場管理としてはありますが、海水浴シーズン以外は土・日・祝日のみですから、就業の機会は限られています。

仕事の種類を増やすのは勿論ですが、会員数を増やして200人にしたいと思っています。

町長 葉山町は人口3万3千人以上いますが、65歳以上は一万二百人です。

その内の2%の方が会員になれば達成する訳ですね。

町の元気は女性ですから、女性の会員を増やす意味でも、会員増強キャンペーンをしたらどうですか。

いろいろ打ち出し方をしたら良いと思います。

「よりも」「ゴールド」の呼び方がふさわしいと前から思っています。

理事長 定年延長の再雇用制度が進んでいる、新規入会者の年齢も65歳以上が

通常になって

きていますが

神奈川県の特

一マである

「健康寿命日本

」を実現するためにも、葉山シルバーは頑張らないといけないと思っています。

町長 私も町長任期6年目に入りますが、いろいろな世代の方に力をいただいています。

一昨年、昨年は「健康」をテーマにし、「葉山体操」「貯筋運動」の普及も始まりました。

その過程で「葉山つてまとまりが持てるんだ」と実感しました。

理事長 生きがい事業団からシルバー人材センターになって三年になりますが、まだまだ課題を抱えています。

植栽関係では町の公園に加え、個人家庭からの注文数が毎年50件規模で増えて

理事長 新年度から介護保険制度が変わり、手軽な介護に関してシルバー

女性の出番が多くなるはずですが、町の広報を活用した人材募集をして行きたいと思えますので、よろしく願い

します。

町長 もちろん、読んでもらえる広報も頑張ってください。

会員一人が新たに一人を勧誘してもらうことや、センターの車両に募集広告の看板を付けたりするのも効果があるかも知れませんがね。

ところで、空き家問題を詳しく調べたら、葉山には228件の空き家があることが判明しました。

その話とも関連して、空いている別荘を東京オリンピックに向けて貸してく



れないかとの

話を出してい

ます。

運営そのもの

は経験ある事

業者に任せるとしても、お部屋の管理や接客などシルバーの出番ではないで

おり、最盛期では二ヶ月以上お待ちいただくケースが多く発生しました。

会員数は横這いですので、個人班と団体班を加えても対応しきれないと思います。新規顧客はお断りするしかないのではと悩んでいます。

植栽希望の新会員が入会しても、庭の木の剪定が出来るようになるには、やはり時間が掛かりますので、後継者の育成が一番の課題です。

町長 新規事業もされているのではないですか？

理事長 はい、ワンコインサービスと葉山デジタル倶楽部を昨年スタートさせました。

ワンコインサービスは会員のボランティア精神が必要になりますし、各自治会などの独自のサービスも進んでいるように、なかなかうまく展開できていません。葉山デジタル倶楽部もパソコン教室を開けるようになりたいのですが、未だ個別対応レベルです。

流れはパソコンからスマホに移行していますので、スマホの相談に期待して

しょうか？

理事長 葉山シルバーも平成29年度からは人材派遣を導入しますから、

上手く対応していきたいと思えます。最後に葉山の理想について、町長にお聞きしたいと思います。

町長 平日は葉山から出て通勤されている方が多い訳ですが、休日には海とか山とか、町でもっと楽しめる生活ができるようにし、葉山の土地の良さを知り、「いつかは葉山に住んでみたい」と言ってもらえる人を増やすことです。

「いつかは クラウン」ではありませんか(笑)。

「いつかは葉山へ」。そのような憧れる町にしていきたいと思えます。

理事長 葉山シルバーとしても、地域に密着した形で貢献できればと願っています。

今日はお忙しい中をありがとうございます。

今年、節目の年を迎える皆様に
抱負等を聞いてみました

米寿を迎え

- 1) トンネル技術一筋に75歳まで現役。昭和46年から葉山に移住。シルバーでは植栽、上山小の交通誘導、長者ヶ崎駐車場を通して、生涯現役です。
- 2) 85歳で運転免許証は返納。自転車に乗れなくなったら、いよいよ引退です。
- 3) 楽しく仕事をした後の、ほどほどの酒が一番。
- 4) 写真撮影（長者ヶ崎からのダイヤモンド富士）、畑でトマトなど。

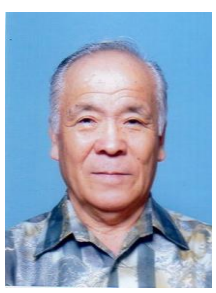
- 1) 昨年の思い出に残る出来事
- 2) 新年の抱負
- 3) 健康法
- 4) 趣味など



北村弘明さん
長者ヶ崎駐車場
88歳

喜寿を迎え

- 1) 初めて出合った壮大な現場。背丈以上の草の高さ、向こう側が見えない程の広さ。ところが完璧に終了した事。皆の力は本物だ。
- 2) 怪我なく仲間に迷惑をかけず、友愛、謙虚な誠心を忘れない。
- 3) 早寝早起き、たまに仲間と呑む会などで忌憚なく話合う。
- 4) ゲーム・カラオケ、コンサート、好きな歌を聞く。



福澤頼朝さん
植栽管理 77歳

古希を迎え

- 1) 植栽管理部に所属して2年目に当たり、町の公園・緑地管理や町民のお庭の手入れ等の注文が増加して仕事に追われました。
- 2) 近くに引越してきた孫との公園遊びが楽しみで、公私の切り替えをスムーズに行いたい。
- 3) 体力維持の散歩を週4回程度は行うのが目標。
- 4) 趣味の園芸やゴルフの質の向上。

- 上田 誠さん デイサービス送迎 77歳
- 1) 英国のEU離脱と米国大統領選の結果。識者・専門家の予想も当てにできなかったこと。
 - 2) 呆け防止へのチャレンジ、孤独を恐れない生き方の模索。
 - 3) 町民農園で野良仕事。葉小前く逗子間を徒歩で往復。
 - 4) 囲碁。自称アマ初段に年内に一勝はしたい。



藤本茂夫さん
植栽管理 70歳



村上直さん
植栽管理 70歳

- 1) 一年間健康で、無事故で、暮れの仕事納めを全員で作業できたこと。
- 2) 朝起きて、時間までに行くところがある幸せを大事にしていきたい。
- 3) 仲間と仕事をしながら、いろいろな話をして、大笑いして、大好きな「鬼ころし」を飲んで、早く寝ること。
- 4) 車を運転して、ぶらり出掛けるのが好きです。

事務局からのお知らせ

定時総会

五月三十一日(水)

午後二時～福祉文化会館会議室

駐車場管理部連絡会

三月三十一日(水)

午後一時三十分～保健センター

植栽管理部連絡会

三月三十一日(水)

午後四時～保健センター

急募

植栽関係の会員を増やすために友人や近所の方を勧誘して下さい。

編集後記

あけましておめでとうございます。皆様のお幸せを心からお祈り申し上げます。

昨年一月に念願の葉山シルバーの会報を発行して一年となります。「会員の皆様の役に立つ会報」を目指してきました。まだまだ、改善、改良しなければならぬと編集委員一同心を新たに今年も頑張ります。

会員の皆様、町民の皆様等に親しみを持って読んでいただけるよう紙面の充実に努めてまいります。引き続き会員の皆様の御協力をよろしく願います。

編集委員一同

謎の錠摺 - 姫



高田順一郎



前回、三号迄、「謎の錠摺城」を紹介してきました。

流刑の地

今回は頼朝の妻女、亀の前を紹介したいと思います。

流罪地である伊豆の蛭ヶ小島でひっそり暮らしていたと「平家物語」に紹介されています。

筆者は頼朝が愛した亀の前という女性に興味を抱いた訳ですが、この女性を知るために、頼朝が若くして流刑された地を訪ねることにしました。

平安時代末期から鎌倉時代初頭にかけて、伊豆の各地は中世日本史を彩る舞台になっていました。その舞台は意外と伏せた過去にしたようです。

古書「吾妻鏡」では亀の前は頼朝の身の世話をしていたと記されています。

平安時代末期から鎌倉時代初頭にかけて、伊豆の各地は中世日本史を彩る舞台になっていました。その舞台は意外と伏せた過去にしたようです。

それは、いつ頃のことだったのでしょうか。頼朝の、流罪期間は20

年及びますから出会うのに十分な時間はあったわけですね。蛭ヶ小島の名の由来です。

が棲むような場所だったというのも流刑地・蛭ヶ小島の名の由来です。

ここは現在、公園として残されていて、頼朝と政子の碑文と石碑（写真）を残しています。

公園内に建つ、茅葺きの建物は、江戸時代中期の農家の建物で、元の場所から移築したものです。静岡県の有形文化財に指定されています。屋内には民具や農具が展示され、歴史民俗資料館となっています。



(右・頼朝と政子の夫婦の碑)

2007年、茶屋や土産物を売る店が地元の仕事訓練校の生徒の手により作られるようになり、その運営は御当地のシルバー人材センターの会員により運営されています。

さて、頼朝の生活



は困らず、その乳母以外からも、比企尼たちの物資援助もあり、頼朝は助けられていました。現代的にも「意外ともてる男」になるのでしょうか？

支援者がいなければ、戦国の鎌倉時代に流刑の身が乗馬や狩猟などをし、自由な生き方ができるわけはありません。

そんな、頼朝の周りには、最初の愛人だった八重姫や後の正妻になる政子がいれば、最初から頼朝の存在はありませんでした。存在すら否定されてる運命です。したがって、所領を持つこと、家来を持つこと、伊豆国の外へ出ることも禁止でした。

しかし、頼朝という人は、かなり強運の持ち主であると言えるかもしれません。

支援者のちから

頼朝を支援する人たち（スポンサー）がかなりいたようです。身の世話をしたり、乳母たちの支援のちからによって生活に

を考慮すれば名の表現としては優良な意味合いをもった名になるのでしょうか。

「亀」は永遠を表し、「前」は一番となり・・・。

結局「あなたが永遠の人とか？一番の人」になる・・・。

ひっそりした暮らしが、比較的、自由な暮らしを許されていた頼朝になります。本人には浮世の生活に心を向けるしかなかつたと思えます。家系と流刑人としての頼朝にはストレス度も高かったと捉えることができます。

葉山に錠摺の有名店、日影茶屋がありますが、茶屋の推奨する「亀の前」という清酒があります。この茶屋の近くに、北条政子の「うわなり」の攻撃で身を隠していた事は前号（会報3号）で紹介したとおりですが、錠摺の謎に満ちた女性の名として今も伝えられています。

他にも、小山政光の娘の寒川尼、山内

俊通の妻といった乳母たちも頼朝を支援していたものと思われま

こうした乳母連合という強い味方の環境の中で、約20年間を伊豆国で過ごしたわけ

後年、頼朝は寵愛の妻女「亀の前」を返子小坪の中原小中太光家宅に住まわせることになりました。

事件はそこから始まりますが、頼朝は政子がいながらそこまでの誤解は何であったのかと考えています。

亀の前の素性をネット上で調べますと「良橋太郎入道の娘とあり、伊豆流人時代に付き人として出会うことになりました。容貌が優しいだけでなく、心も柔和な女性で賢さが光る人であったようです」

ところが「吾妻鏡」をよく読んでみると意外な事実が浮き出てきます。

小坪の襲撃時政が引き上げといった一連の騒動の後の記事ですが、12月12日付

の文面に頼朝の亀の前に対する寵愛はさらに深まり、亀の前を逃亡先の鑑摺から再度、小坪(逗子市内)へ住まわせてしまっています。

という内容が書かれているのです。

つまり、あのような事件があっても頼朝と亀の前の関係はその後も続いていたよなのです。

よほど、亀の前は頼朝の精神を安定させる女性だったのでしょうか。

二人の関係がいつまで続いていたかという、翌年の「寿永二年(1183年)」は「吾妻鏡の空白の一年」となります。

空白、空けの寿永三年(1184年)以降には「亀の前」が全く登場しなくなります。

記録がありませんが想像するしかありませんが、筆者は頼朝がいつまでも隠し通していたと思えるのです。

「吾妻鏡」の都合が悪い部分を欠落させた。誰がしたかはわかりませんが、恐

らくは側近の付き人が破棄したとも思えますし後の人がしたのかもしれない。

前項でも記述しましたが日陰茶屋にも亀の前の清酒がある程です。今も歴史の人として残っているからです。

鶴岡八幡の祭礼だった

更に、今も残る亀の前を思わせる祭礼がありました。

鎌倉の無形文化として伝える祭礼です。

鎌倉坂ノ下の御霊神社で、毎年9月1



8日、面掛け行列」という奇祭(神奈川県無形文化財)が行われる行列のハイライトには、歩く妊婦の阿亀(おかめ)の女性。

この女性は頼朝の愛する「亀の前」を象徴するかのようないでたちで登場します。現在もこのような祭りが行われるほど歴史に残っているのです。

この祭りは江戸時代に、鶴岡八幡宮の祭礼だったようです。この祭は、当初は「非人面行列」と言われる祭で、言い伝えとしては、かつて頼朝が非人(身分差別の呼称)の女性を身ごませたことで始まり、年に一度、無礼講を許し、非人たちが登場させて怒りを治めたかのようです。行列のハイライトには、阿亀(おかめ)が登場しこれは頼朝への「こじつけ」をしているかのように...

時代隔てても、庶民の目を欺く事はできないと言ふことなのでしょう。

こうした祭りは、今でも風習として残っています。何を伝えていますが、これが庶民の怖さかもしれません。

「吾妻鏡」の原文から亀の前がどう書かれているか、抜粋を見てみましょう。

壽永元年(1182)六月小一日庚子。武衛以御寵愛妾女(号龜前)招請于小中太光家小窪宅給。御中通之際。依有外聞之憚。且此所爲御濱出便宜地云々。是妾。良橋太郎入道息女也。自豆州御旅居奉昵近。匪顔貌之濃。心操殊柔和也。自去春之比御密通。追日御寵甚云々。(読めないですぬ!)

ここで、少々、「吾妻鏡」の原文から亀の前がどう書かれているか、抜粋を見てみましょう。

壽永元年(1182)六月小一日庚子。武衛以御寵愛妾女(号龜前)招請于小中太光家小窪宅給。御中通之際。依有外聞之憚。且此所爲御濱出便宜地云々。是妾。良橋太郎入道息女也。自豆州御旅居奉昵近。匪顔貌之濃。心操殊柔和也。自去春之比御密通。追日御寵甚云々。(読めないですぬ!)

行くといつて来るのに都合がよいからだとき。この妾は、良橋太郎入道の娘です。伊豆に流罪になっていて、顔が色つばいばかりではなく、性格も優しいので、去年の春頃から一層夢中になって、浮気に行くことが益々回数が増えてきた。

原文の書き方に偏りがあるのか?、筆者には少し納得がいかない読下ですが...

このように、小説もどきな事件として残されています。

頼朝の流人時代の史料は残されていないため、二人の恋については伝承の域を出ませんが...

歴史からの削除

現在でも『吾妻鏡』諸本の研究は重要史料とされてはいますが、江戸時代の「老談一言集」に、頼朝の死についての部分が欠落しているのです。

このことについて徳川家康は「名将の



疵に成る」と削除させたとあります。

頼朝は武家時代の幕開けをした人物として、後の将軍が敬愛する人としての意味をこめて、恥にながら記録は歴史から削除したと思われる。

今回の取材では、タイミング良くコンビニエンス・ストアー店員(Yさん)さんが(鑑摺では昔からの先祖の家系だったことから)が取材協力をしてくれました。

葉山・堀内にある光徳寺の御住職が地域の歴史として、当時(鎌倉時代)の様相(伝承等)を語っているの聞きまししたし、また、「日影茶屋物語」三角しず著の本も入手しましたが、今回は現すに至らず完結に導く事は

できませんでした。次号では是非、取材等をおこなわさせて頂き「謎の鑑摺・姫」の完結編と考えています。(何か、発見できればいいのですが)

続く。